

令和7年度 維持修繕仕様書

維持修繕名 史跡神明貝塚用地維持修繕

修繕箇所 春日部市西親野井地内

施設名称 史跡神明貝塚

事業名 史跡神明貝塚保存活用事業

維持修繕大要

○史跡神明貝塚

防草シート設置工	A=	4,692 m ²
侵入防止ネットフェンス工	L=	165 m
整地工	A=	4,692 m ²

変 更 理 由					
備 考					
地 区	(00001) 県南	労務費補正	1.00	機械経費(賃料)補正	1.00
単価適用年月	(R0703) 令和07年03月				
維 持 修 繕 期 間	当 初	自		至	
		日 数			
	変 更			至	
経 費 適 用 年 月	令和07年03月				
主 たる 工 種	維持修繕				
施 工 地 域	非市街地				
設 計	当 初 金 額		変 更 金 額		
	維持修繕価格				
	消費税相当額				
	合計				
請 負	維持修繕価格				
	消費税相当額				
	合計				
	請負増減額				
週休2日区分分	採用しない				

維持修繕費内訳書

第 1 号

修繕区分 工種 種別 細別・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
史跡神明貝塚用地維持修繕					
防草シート設置工 防草シート350(g/m ²)以上 止ピン φ4mm×L=300		m ²			
	4,692				第1号一位代価表
侵入防止ネットフェンス工 Lスティックピン1.5m 2mピッチ メッシュF H=1,000mm メッシュ幅40×80		m			
	165				第2号一位代価表
除草、整地工 (人力施工)		m ²			
	4,692				第3号一位代価表
直接維持修繕費		式			
	1				
共通仮設費（率分）		式			
	1				
純維持修繕費		式			
	1				
現場管理費		式			
	1				
維持修繕原価計		式			
	1				
一般管理費等		式			
	1				
維持修繕価格		式			

維持修繕費内訳書

第 1 号

修繕区分 工種 種別 細別・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
消費税及び地方消費税		式			
	1				
維持修繕費合計		式			
	1				

一 位 代 価 表

除草シート設置工（平坦地）

100 m²当り

第 1 号

名 称／規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
材料費 除草シート 350(g/m ²) @=0.8(mm)以上		m ²			
	110				
材料費 コ型止めピン φ 4mm×L300		本			
	222				
材料費 接着テープ W=100×20m		m			
	50				
材料費 ワッシャー 直径 8 c m ドーム型		枚			
	222				
材料費 計					
労務費 土木一般世話役		人			管理
労務費 普通作業員		人			小運搬 シート敷設 シート固定 テープ工 清掃
労務費 計					
合計					
1 m ² 当り					

一 位 代 価 表

侵入防止ネットフェンス工

100 m当り

第2号

名 称／規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
材料費 Lスティックピン L=1500		本			
	51				
材料費 オレンジ ネットフェンス H=1000 50m巻 メッシュ幅40×80		巻			
	2				
材料費 結束バンド L=100		本			
	204				
材料費 計					
労務費 土木一般世話役		人			管理
労務費 普通作業員		人			小運搬 ピン打込み ネット設置 ネット固定
労務費 計					
合計					
1 m当り					

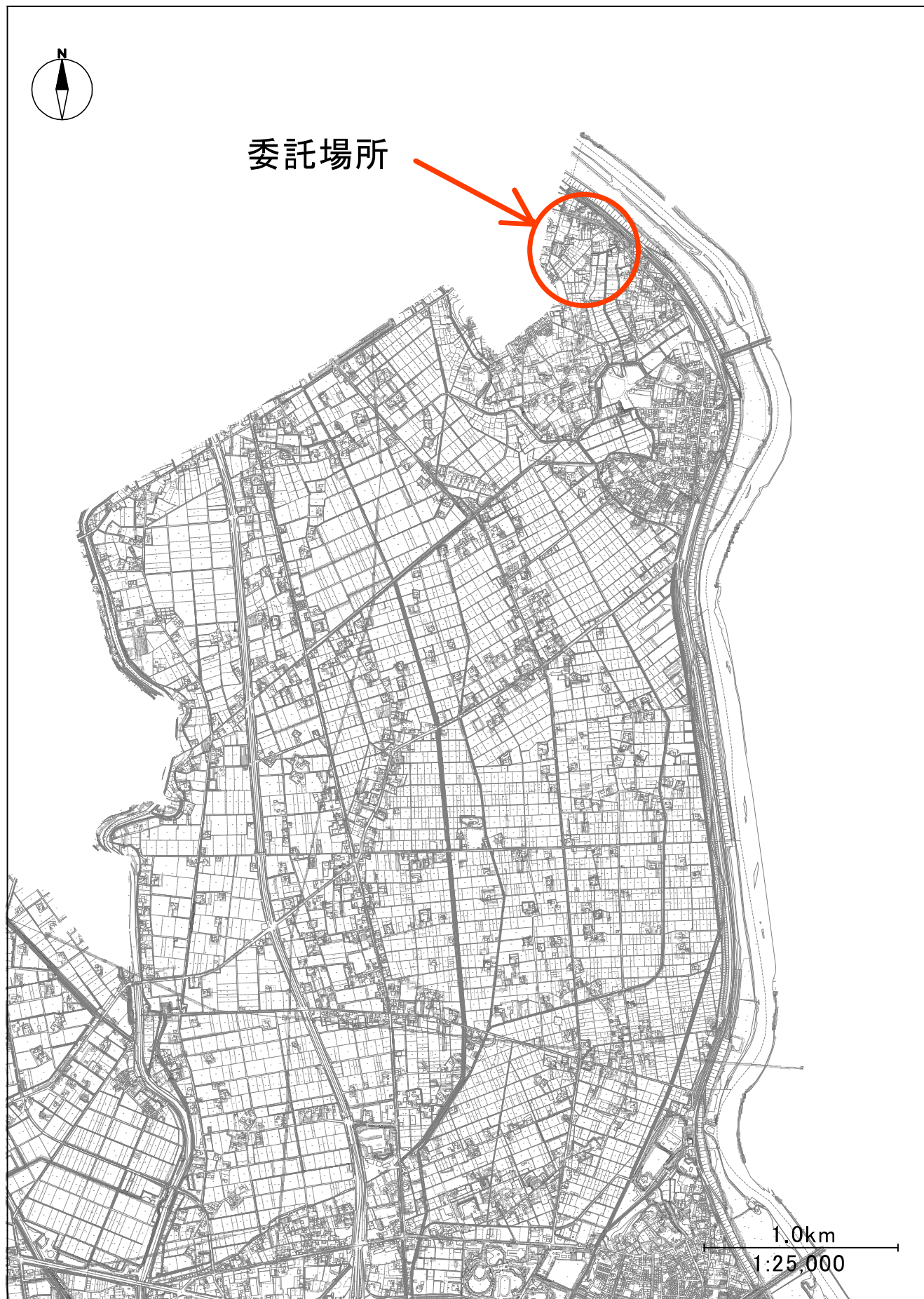
一位代価表

除草、整地工

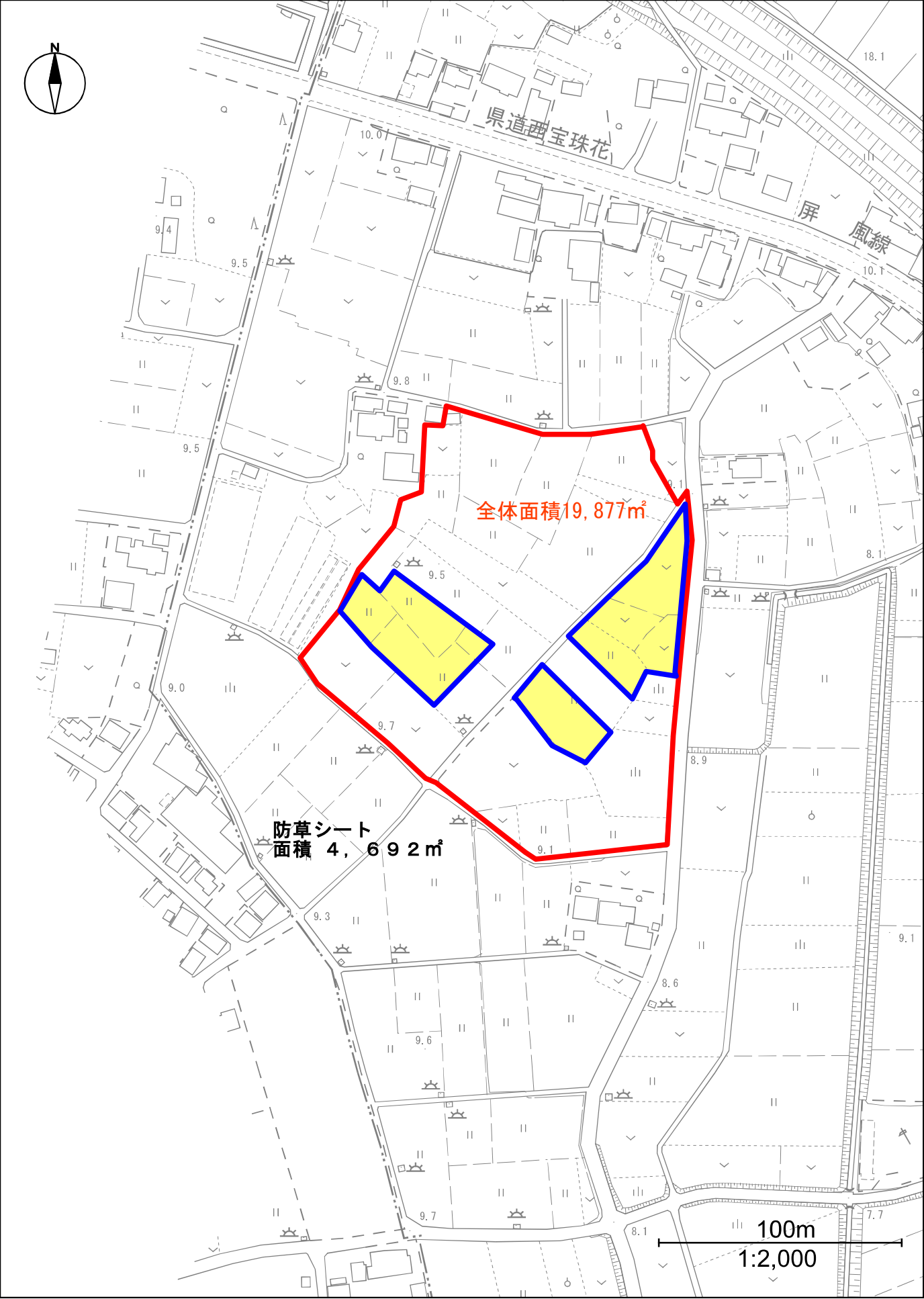
100 m²当り

第3号

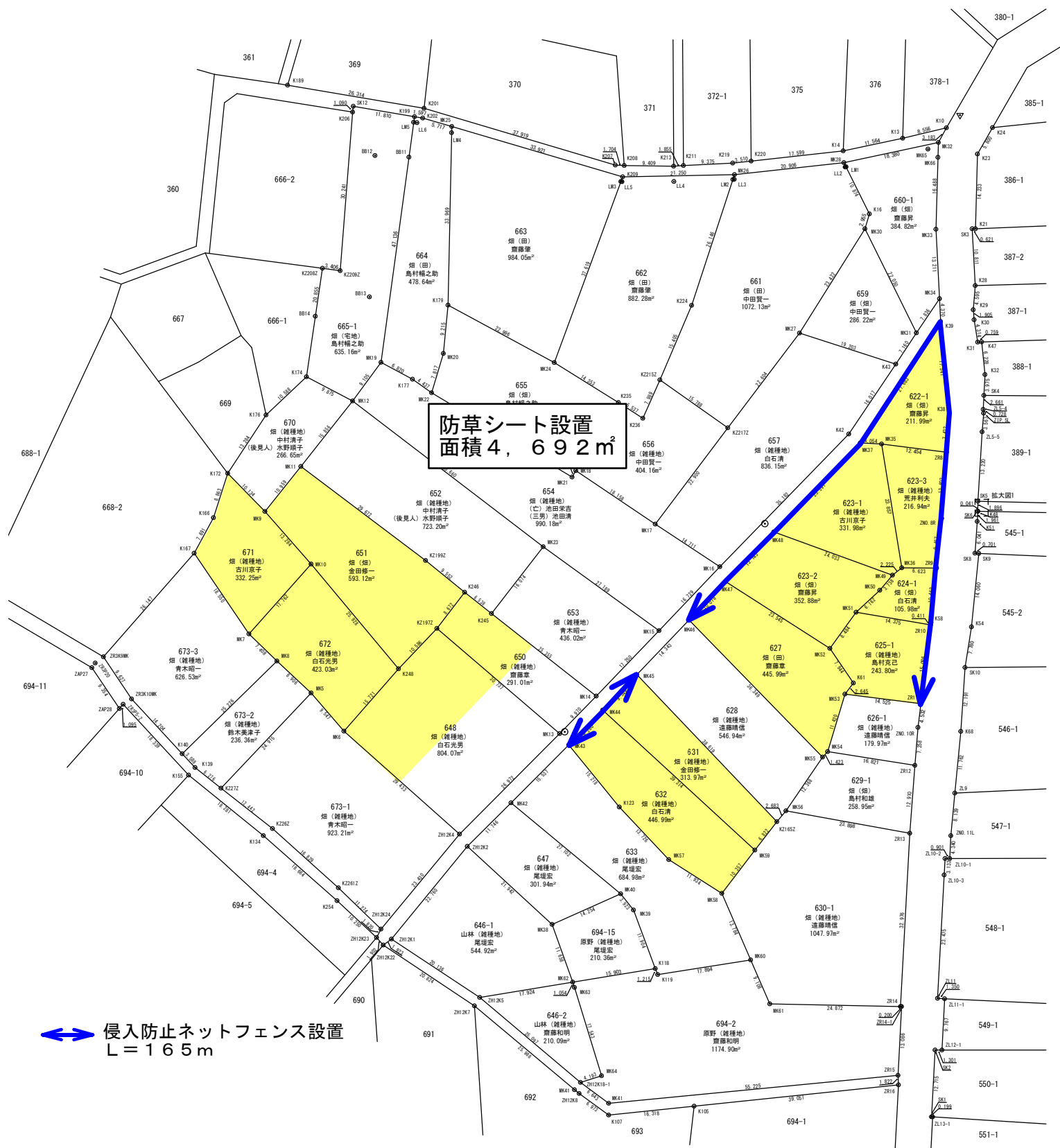
名 称／規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
除草、整地工		m ²			
	100				
合計					
			1 m ² 当り		



3 設計図



神明貝塚防草シート敷設計画図

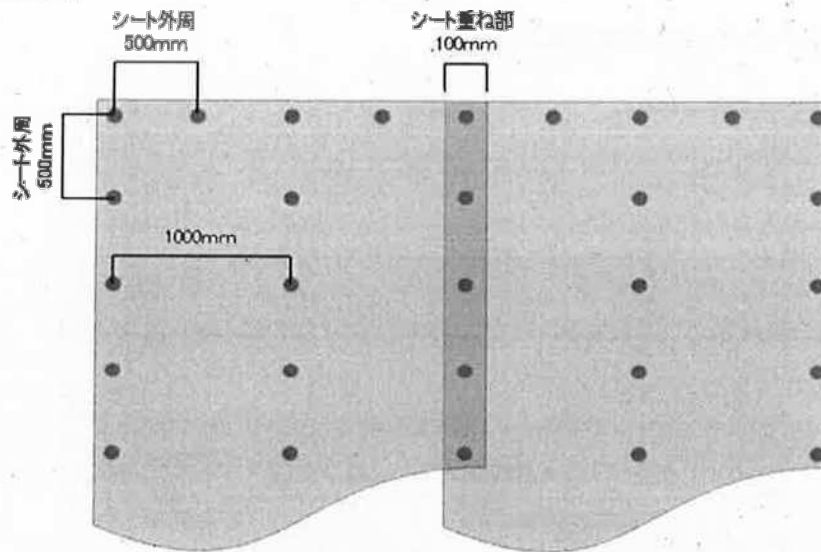


防草シート平坦地施工方法（暴露）

1. 施工する場所の雑草を取り除き、整地をします。
2. 防草シートを広げます。この時波打っている所を直し、防草シートと土が密着する様にします。
3. シート重ね部分を10cm以上設けます。
4. 下図の間隔を参考に、コ型止めピンと防草ワッシャーを併用してシートを固定していきます。
5. 植物や障害物がある場合、位置を合わせて隙間が無いように加工します。

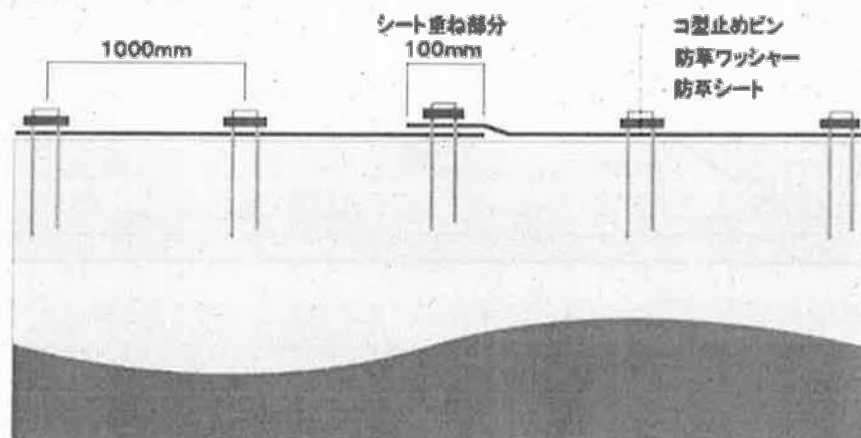
アンカーピン止め位置（基本）

平面図



防草シートの中により止め位置は変わりますが、短手約1m間隔、長手約50cm間隔での打ち込みをお勧めします。* 土壌の性質に応じて間隔、アンカーピンの長さを変えます。

断面図



侵入防止ネットフェンス詳細図

S=1:20

